

さかみち

のほ えが お ま
「さかみちを^{のほ}上ると、^{えが お ま}笑顔が待ってるよ」

白小だより

7月号 (No. 4)

令和7年6月30日

心耕し豊かな心へと…「感じる心 伝える気持ち」につなぐ

運動会後から6月にかけては、次なる目標に向かう時だからこそ「自分と向き合い見つめ直していく」ことが大切です。ワークショップや講演会、授業から、より自分の心を耕し、豊かな心へと「感じる心 伝える気持ち」につながればと考えます。

■第1回演劇ワークショップより (R7.5.29)

1, 2, 3年生、4, 5, 6年生にて、四国学院大学社会学部教授 仙石桂子先生の第1回演劇ワークショップを学生さんにも協力いただき実施しました。授業では、相手が話をするときはしっかりと聞き、発言するときは思いやりの心をもって発言することを意識し、5人ずつ程のグループに分かれ、ゲームを通して「自分も相手も大切にす」コミュニケーションを学びました。さらに、普段の学校生活の中で、自分自身をしっかりと見つめ、相手も大切にすの心を考えて行動にもつながればと思います。

■靴磨きトラベラー佐原総将さん講演会「世界を足元から輝かせる」より (R7.5.30)

靴磨きトラベラー佐原総将さんは、大学4年生の留学をきっかけに世界に目を向け、それ以降、世界を旅する夢を追い求めて、靴磨きでの旅を始めました。「世界を足元から輝かせる」をモットーに靴磨きの世界一周の旅に出て、これまでに38カ国、2000足近い靴を磨いたとのこと。靴がきれいになれば、どの国の人たちも喜んでもらえることを実感したそうです。全校生の皆さんは、真剣に、耳を傾け、質問にも積極的に発表していました。佐原さんが世界での靴磨きを通して世界の人々の足元から感じた様々な生き方の話は一人一人の心の中にしっかりと届いたことでしょう。ご来場いただいた保護者・関係者の方々、お忙しい中、誠にありがとうございました。



7月期末懇談会

学校生活の様子や学習の状況についてお話しさせていただきます。保護者の方とお子様
の成長を確認し、さらに成長する夏休みになるよう話し合いたいと思います。



7月の生活目標

そうじ名人になろう

(正しい掃除道具の使い方)

(担当 整備委員会)